

# 佐渡航路における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)

## 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

佐渡を訪れる観光客は、平成3年の約120万人をピークに年々減少しており、平成19年には約60万人と減少している。一方で、観光客入込数の落ち込みは航路運営にも大きな影響を与えており、観光を核とした航路活性化を図ることが、離島交通を支える航路運営にとって急務となっている。佐渡航路活性化のための具体的な施策を検討し、重要施策の事業化に向けた調査・分析を行う。

## 佐渡航路活性化協議会

佐渡市、新潟県、新潟交通佐渡(株)、社団法人佐渡観光協会、北陸信越運輸局、佐渡汽船(株)

## 総合連携計画策定調査実施計画の概要

### 1) 調査の内容等

- ①佐渡航路地域公共交通総合連携計画の策定
- ②佐渡航路活性化の基本的方向に関する調査・分析
  - ア.新たな観光メニューによる航路の活性化
    - ・団体ツアーモニター調査
  - イ.サービスの高度化による航路の活性化
    - ・船内イベント等実証調査
    - ・船内ツアー・デスクサービス調査
    - ・佐渡航路へのアクセス調査
  - ウ.運賃サービス等に関する調査
    - ・多様なサービス等に関する調査
  - エ.島内二次交通の充実
    - ・定期観光バス等の利用実態調査

### 2) 計画策定の時期

平成20年3月

佐渡航路の  
活性化

船旅の品質  
向上

需要拡大

需給バランス  
の適正化

佐渡航路船舶  
の新たな活用

佐渡汽船(株)の業  
務効率化

